

最も困難を極めし 工事の經驗談

鐵道省建設局
工事課長 橋本敬之

私は壯年時代の十二個年間を山陰線の建設現場に過したのであります、其内最も苦しみ経験を云へば、彼の高架橋で有名な但馬の餘部から俗稱「モウズキ」峠の下を貫く

桃觀隧道の工事を

監督した時のこゝであります。此隧道は長さ一哩十二鎖であります、六十六分の一の片勾配で、岩が非常に硬い上に、突込みの側は相當水が出るゝ云ふ豫想の下に、鑿岩機や唧筒の運動のために水力電氣を起して、請負人に供給することになりました。處で其水深であります、丁度隧道の上部百五六十呎の地點を流れて居る西川と云ふ溪流に、最小十四個の水量があるゝ云ふことを、たつた一夏の觀測で断定してしまつた。まだ學校を出てホヤホヤの時でありましたから、

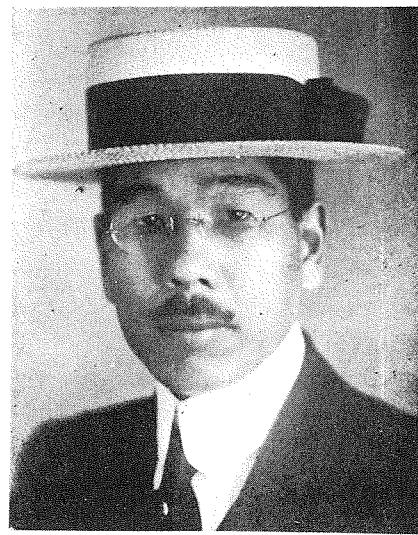
地質のことなどは、

よくも調査せずに、躊躇なく之を引いて二百馬力の發電工事を、約10萬圓の費用をかけて榜へ上げた。それで最初の間は隧道内の湧水も余り澤山に出ず、順調に掘り進んで居た處がダンダン夏になるに従て豫定より渦水の状態がひさくなつて來かゝつたので、少し心配になりだした、折も折坑口から十四五鎖の地點に來たとき、突然斷層が表はれたゝと思ふ間にもなく急に五六個の水が噴出して一方西川

**戸外の風に
當る若人**
張した人々の中に建設局系の技師が多く何れも工事に對する熱心家であるが、瀧淵實烈君や三好新八君等はトンネル工事で専

○昨年鐵道省から研究員として歐米に出でる
門的に研究してゐる人。
○工務局から上村義夫君が行つたのも軌條研究で名を成したヤ

多いらしい、瀧淵君だけは食堂に額を出さなかつた事は一度もないと云ふから豪氣なもんだ。
○第一改良の川口利雄君は大河戸博士がわざわざ船の中まで送つて親切に世話をしてくれたのは師弟の情も美しく見られた。



Mr. Y. Hashimoto,
Imperial Government Dep't.
Construction Division Manager.

鐵道省工事課長 橋本敬之氏

の水は丁度それ丈減水してしまつた。其結果は、唧筒を動かす電力は不足して、坑内は見る見る内に水づかりになつて、仕事は之れが爲め六ヶ月も手をつけるこゝが出来なかつた

勿論私が全責任

を負はなければならないのだが、幸ひ請負側の鐵道工業合資會社が至極寛大で、何もかも天災と諒めて呉れた爲めやつゞ自分の首がつながつた譯であつた。其内に渦水期も過ぎ辛うじて元通りの動力を支給するこゝが出来たが、一時の苦心と焦慮は非常な者であつた。

(附記 鐵道工業合資會社は今の鐵道工業株式合資會社なり)

英蘭銀行建設者

ソーン氏の苦心

工學博士 長野宇平治

突然的だから何もいゝ話はないが、一つ先輩の『工事美談』をお話する。先輩といつても何も私交的關係裡にある先輩のみを先輩といふのではあるまい、廣い意味に於て内外を問はず、古今に拘らず、同一方向を辿つてゐる——同じ道を行きつゝあるものにござつてそれより先を歩いてゐる、また歩いた人は凡て吾等の先輩である、といふ廣義的字義解釋に遁る、ここを許されたい。

日本銀行は經濟組織も建物も英國の英蘭銀行を模範とし基準とし出来上つたものである、その日本銀行の建築に携つてゐることに因んで私は、英蘭銀行の建築設計に選ばれ、そしてこれを爲し遂げた吾等の先輩、ソーン氏に就て一應のお話をす。

英國倫敦にある英蘭銀行は、英國議會政治が、全世界の政界の模範となり、テームス河に臨んだ議事堂の偉觀は、全世界建築界の饒望となつてゐると同じく、英蘭銀行の經濟組織が未だ世界の經濟界に霸を稱へて居り、その建築は世界建築界の一大權威を把持してゐるのである。

× × ×

而してこの英蘭銀行をして世界の偉觀たらしめた設計者、ソーン氏は如何なる人かといふに、氏はその若かりし頃建築の基礎學問を終へて伊太利に赴き、かなり長い間古代建築の研究に没頭し、研鑽琢磨したのであつた。氏の研究した古代建築はグリーク、ローマの建築であつた。

然してその頃、英蘭銀行の建築が爲されねばならぬ時こはなつてゐた。當時の政府要路の大官は、この重大なる英蘭銀行の大建築には如何なる技師をしてこれに當らしむべきか



Dr. U. Nagano.
An Architect.

國家經濟の中権、世界的經濟意義の大なるこの建築に當るものは、またそれだけの人傑でなければならない。要路の大官並びに該銀行の首腦者等は、全國に技師を物色し且つ求めた際、銳鋒すでに脱したる建築的俊才ソーン氏在るを傳へ聞いてこれを招き、英蘭銀行建築の大任をソーン氏に委ねたのであつた。恰も日本に於て、日本銀行建築に時の藏相松方正義公が辰野金吾氏を抜擢しこれを委ねたこと、その間の消息が酷似してゐる。

× × ×

ソーン氏は本國からの招きに應じて歸朝し早速この大任を全うせんことを期したのであつた。ソーン氏を今日から推して觀れば、また一人の傑だつたことを覗ひ得るのである。それは英蘭銀行の建物から觀ればわかる、如何に氏がこれに就て考案をめぐらしたか。英蘭銀行建築は優れたる特徴がある。その特徴の第一は

元來銀行の本質的意義からしてその所在は市中の中心にあらねばならぬ、而もその作り方は城廓の如き堅牢さを持たねばならぬ、けれども市の中心に堅固であるからこそ云つて牢獄然としてゐては人々に不快感を與へる人をして不快にせしめてはいけない、これが設計